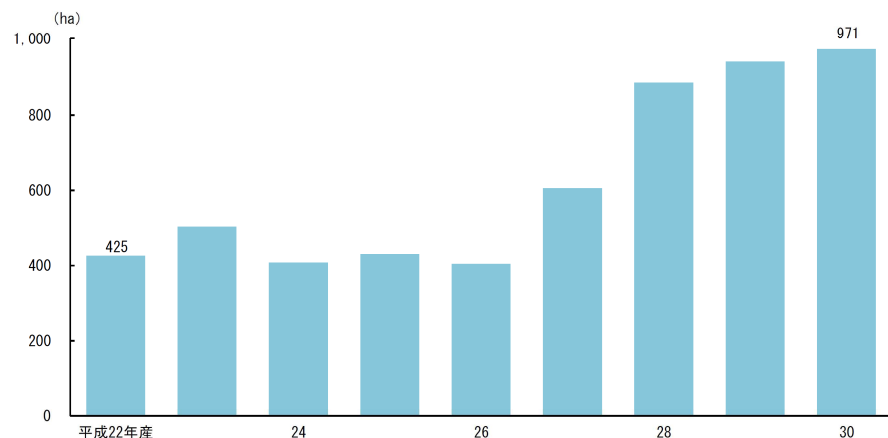


6 なたね

■ 作付面積

・北海道における平成30年産なたねの作付面積は971haで、平成22年産に比べ約2倍に増加し、特に平成27、28年産が大きく増加している。

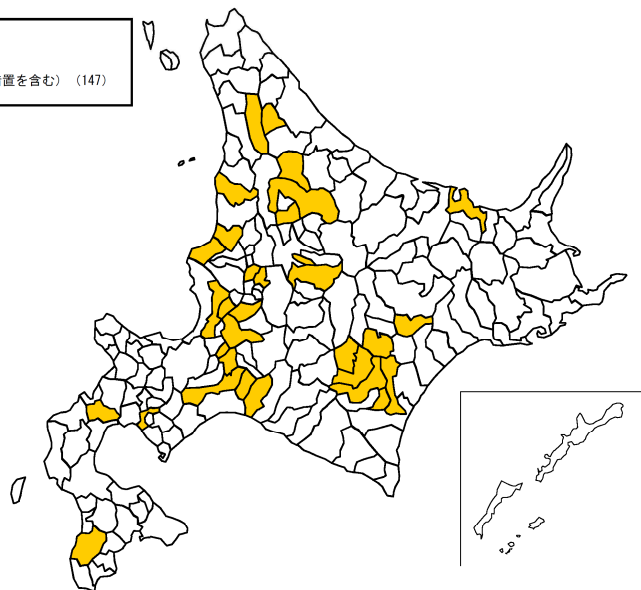
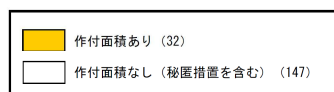


資料：農林水産省統計部「耕地及び作付面積統計」（以下同じ。）

注：なたねの作付面積及び収穫量調査は平成22年産からとなっている（以下同じ。）。

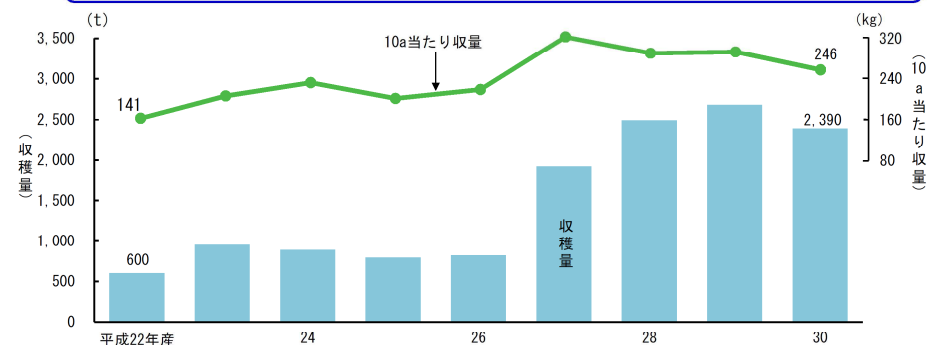
■ 作付面積の比較

・平成30年産のなたねが作付けされている市町村数は32で、全市町村の18%となっている。また、作付けのある市町村数は、平成22年産に比べ7市町村増加している。



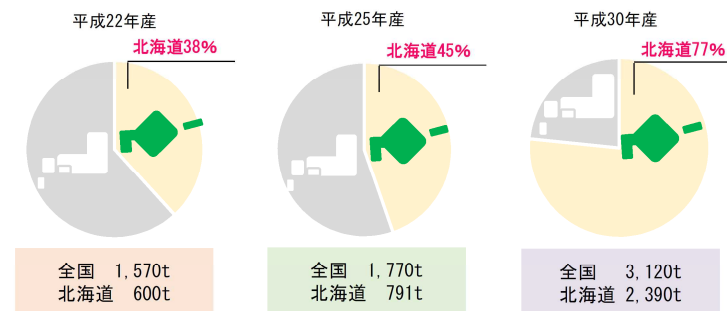
■ 収穫量と10a当たり収量

・平成30年産のなたねの収穫量は平成22年産に比べ約4倍となっているが、10a当たり収量は平成28年産以降低下傾向となっている。



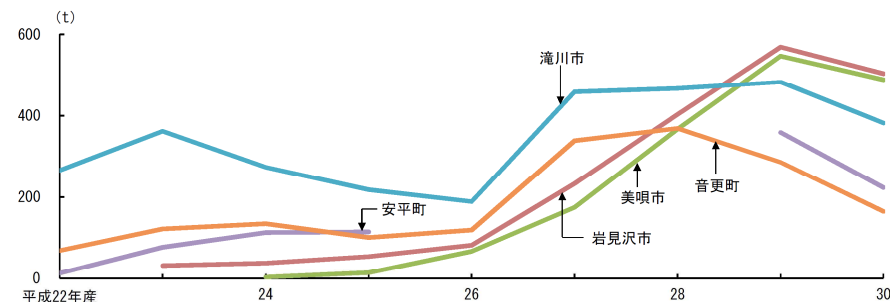
資料：農林水産省統計部「作物統計」（以下同じ。）

■ 全国に占める北海道のなたね収穫量割合



■ 上位市町の収穫量

・平成30年産は岩見沢市、美瑛市、滝川市、安平町及び音更町の上位5市町で、北海道の収穫量の約74%を占めている。



注：岩見沢市の平成22年産、美瑛市の平成23年産、安平町の平成26年産～28年産は秘匿措置が講じられていることから、グラフには表示していない。また、美瑛市の平成22年産は収穫量なしである。